

安全表示で 人づくり

ビーポップを活用した安全活動事例

第5回

日本クッカー株式会社【伊丹工場】

会社概要

- 本社所在地：東京都品川区 ●伊丹工場 所在地：兵庫県伊丹市
- 設立：1998年 ●従業員数：全社約3,500名 伊丹工場：約500名
- 主な事業内容：弁当・おにぎり・寿司・麺・惣菜・サラダなど食品の製造および販売



労災事故のあった機械への注意喚起のためステッカーを貼った。二度と事故を起こさないために機械そのものを改良することはもちろん、印象に残るように強めのイラストで注意喚起表示を行った。外国人従業員も多いため、言語を問わずにメッセージを伝えることができるよう、あえて文字は使わなかった。シンプルな形を組み合わせ、円形のトラ柄で囲うことに工夫を施した。



日本クッカー(株)伊丹工場の平尾さん(左)、今井田工場長(中)、中村部長(右)。

全員参加の安全活動は 安全表示への取り組みから

兵庫県伊丹市にある日本クッカー(株)の伊丹工場では、主に大手CVSが店頭で販売する中食の製造を行っています。中食とは食品業界において外食と内食の中間に位置するもので、おにぎりや弁当、惣菜など持ち帰りの食品を指します。同工場では1日に20万個のおにぎり、3万から4万個の弁当を生産するなど、全国に9カ所ある同社製造工場の中でも、関西地域の中核工場として24時間体制でフル稼働しています。

そんな同工場では2020年度の工場方針として「共同！協同！協働！」を掲げ、全員参加型の安全衛生組織を中心に安全衛生活動に取り組んでいます。

また、同工場では、第2回「安全表示人づくりコンテスト」に作品を応募して見事、優良賞を受賞しています。そこで今回は同工場の安全衛生対策を担う、製造部の平尾茂照さん、管理部部長の中村誠治さん、工場長の今井田英二さんに安全衛生活動の特色や力を入れていくことについてお話を伺いました。

委員会の事務局経験で 現場の安全意識を高める

同工場では現在、外国人従業員の比率が増加し、高齢労働者も多くなっていることを背景に、安全衛生活動の重点施策として転倒災害防止と挟まれ巻き込まれ災害防止に特に力を入れているといいます。「食品を扱う工場であるため、どうしても床がぬれていたり油が付着していたりして転倒災害が起きやすい環境にあります。特に50〜60歳代になってくると足腰の力が弱まり、それまで踏ん張れたところでも踏みとどまることができずに転倒してしまう傾向があります。本人も危険箇所が分かったつもりになっても、いざ現場で働いていると仕事に夢中になり忘れてしまいます。そのため現場で危険箇所への警告がすぐ目に飛び込んでくる安全表示は、今や欠かせない安全対策となっています」と、平尾さんは語ります。同工場では安全衛生委員会活動を「自分ごと」にするため、製造部の若手メンバーに安全衛生委員会の事務局を担当してもらうという制度が定着しています。「管理部が事務局を運営している」と、なかなか製造の現場では安全意識が芽生えません。若手のうちに委員会活動を知ってもらうことで、早い段階から安全意識の高い人材に育てるようになっています」と、今井田さんがその意義を教えてくださいました。

安全表示は危険箇所を 見える化する もっとも強力なツール

また、安全表示は危険箇所の見える化のための「強力なツール」だと中村さんは言います。「外国人作業員にはその国の言葉で注意を掲示する場合もあります。が、やはりイラストなど端的な表現の方が効果があります。設備や装置で安全対策を施すのはもちろんですが、そこに表

示という強力なツールを加えることで対策はさらに万全になると思います」と中村さん。同工場では現在、ビーポップを使う安全表示を積極的に作成している方が5人いますが、この方達は全員が自分から使い方を教えてほしいと平尾さんに申し出たのだそうです。平尾さんとしてはこうして、自主的に安全表示が広まることは大歓迎。今後もビーポップの使い手が増えることを期待しているそうです。

「工場方針に『共同！協同！協働！』を掲げていますが、これは工場で働く全従業員が一体となって安全衛生活動を行うことの重要性を訴えたものでもありません。一人ももれなく安全衛生活動に取り組みなければ労働災害ゼロを継続していくことは困難です。そのため、身近なところから取り組める安全表示は安全意識向上への大きな原動力になると期待しています」と今井田さん。

安全表示への取り組みが、同工場の安全衛生活動の一部として定着していることがよく分かるお話でした。

- 1 外国語表示だけでなく、端的なイラストも表示することでより直感的に危険箇所を示している。
- 2 階段や通路などに貼られている歩きスマホ禁止の表示。
- 3 蓄光シールを使い、停電時でも懐中電灯の場所が分かるようにした。



お問い合わせ

マックス株式会社

オフィスプロダクツ営業部

安全表示・人づくりコンテスト事務局

人づくりコンテスト

検索

TEL:03-3669-8108(代) Mail:anzen@max-ltd.co.jp